

「『出会ってよし、結ばれてよし』で若者の少子化対策に貢献したい」と話すのは、県経営者協会の青木清高専務理事。同協会や連合静岡、県労働者福祉協議会などで構成する特定非営利活動法人（NPO法人）のL・W・サポートは、未婚の男性と女性を対象に6月と7月、県内2会場で「婚活」のためのパーティーを開催する。

静岡県内でも晩婚化と晩産化が進行している。2008年の平均初婚年齢は男性が30・0歳、女性が28・1歳で、10年前と比較して男性が1・3歳、女性が1・5歳上昇した。

## らしり茶

出合いの場が乏しいうえ、将来不安から結婚まで踏み切れない若者が増加する現状は、将来の生産年齢人口低下に直結する労使共通の課題だ。L・W・サポートの設立目的も労使協働による少子化対策を打ち出している。

対象年齢は28〜40歳で、シティホテルを会場に計30人程度で開催する予定という。「本音は自分でアプローチしろと言いたいけど」と、主催者の1人は対象年齢に到達した独身の筆者につぶやくが、そんな精神論では済まなくなっていることは、彼らが身を持って感じているようだ。